

都市再生の推進に係る有識者ボード 防災WG
議事概要

日時：平成23年11月7日（月）9：00～12：00

場所：永田町合同庁舎7階特別会議室

議事概要：

1. 開会

2. 分野別の防災対策の取組状況に関するプレゼンテーション・議論

「地区の防災と事業継続計画（BCP）」

東京工業大学特任教授（NPO 法人事業継続推進機構理事）

丸谷 浩明 様

「大丸有地区の防災に関する取り組み」

大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会

様

「長周期地震動と高層建物への影響」

東京工業大学 大学院総合理工学研究科 教授

翠川 三郎 様

3. 自由討議

4. 今後のスケジュール

5. 閉会

議事要旨：

<分野別の防災対策の取組状況に関する議論 1 >

○災害時の事業継続として現地復旧と別拠点への移動という2つの観点がある。

○首都直下型地震等、大規模災害は発生日時（昼・夜、平日・休日）により全く異なる対応を要するため、BCPは分けて策定しておくことが必要である。

○BCPでは、業務拠点を移すといった代替戦略を想定しておくことは重要だが、現地での安全性を高める取組も並行して進める必要がある。

○都市の防災対策を強化する方策として、都市間で連携したバックアップ体制をつくっていくことも有効。

<分野別の防災対策の取組状況に関する議論 2 >

- 発災時に建物等の安全性に問題がなければ、建物内にいる人を動かさないことが重要。また、家族の安否確認ができれば、ビジネスマンを支援要員とした共助の機能を働かせていくことも可能ではないかと思われる。
- 都市機能を途絶させないことが日本全体にとって重要である地域に対しては、エネルギーや情報等基幹インフラの強化を図るなど、地区の事業継続性を高い水準で実現させていく必要がある。
- 開発とあわせて防災施設整備を推進するためには、何らかのインセンティブが必要である。
- 事前の準備段階からの官民が連携した取組を進めていくことが重要である。
- 食料や燃料等の資源を継続的に調達ができない場合は、ある程度流入人口を抑えることが必要である。

<分野別の防災対策の取組状況に関する議論 3 >

- 東日本大震災時の長周期地震動に関するアンケート調査では、ある高層住宅の上層階では立ってられない人が9割おり、行動に支障が出たという結果であった。
- 東日本大震災時には、高層階ではビルが軋む音が聞こえて生きた心地がしなかったという話もあった。建物の安全性を住民や就業者は判断できないため、地震動をモニタリングし即座にアナウンスできる仕組みが必要。
- 建物安全性のモニタリングシステムは、完成建物への設置にコスト面での課題があり、普及を促進する仕組みが必要。

<自由討議>

- ライフライン等の事業継続の基盤が確保されることは、大規模災害時の経済中枢機能の継続が可能となるとともに、国際的な都市間競争力の強化にもつながる。
- 東京の主要駅は、複数の行政区にまたがっているところも多いため、計画推進には行政区にとらわれず行政の連携した取組が重要となる。
- 被災直後には救急・救命活動が中心となり、その後時間経過とともにビジネ

ス活動の復帰への取組に移るなど、地区内のオープンスペースに求められる活用の仕方が時間経過とともに変わってくるため、防災計画の中で限られたスペースを交替して使うプログラムをつくっておくことが有効である。

- 就業者・来訪者等の数や属性について集計し、被害を受ける可能性のある人数を把握しておくことは有効である。
- 広域計画との整合や各計画との役割分担を明確にするため、エリア防災計画で策定する範囲を明らかにしておく必要がある。
- エリア単位の防災計画は、行政・インフラ事業者・企業等の関係者の役割が明確になるという効果があるとともに、計画策定プロセスの中で協議の場が形成されるという意義もある。
- 帰宅困難者問題とよく言われるが、帰宅困難者問題ではなく滞留者問題である。
- 近隣に勤務先のある在勤者等は滞留者問題の対象外とすべきであり、各企業の社会的義務として社内に留めることを原則とすべきである。滞留者問題は、どうすれば滞留者を発生させずに済むかという視点が重要である。
- エリア防災で考える空間整備のあり方では、雨露をしのげる十分に広い快適なオープンスペースを確保しておくことが有効である。
- 災害時の対応では、エリアが管理された状況をつくることが被災者の安心感につながるため重要である。
- 災害時におけるエリアマネジメントを確かなものとするためには、人材育成や教育、訓練が重要である。
- 就業者は帰宅困難者になるが、逆転の発想をすると、災害時の支援者として活用できる。このため、リスク要因をリソースとして捉える発想も重要である。